



YĀMAN

# YA-MAN REPORT

ヤーマン株式会社 2018年4月期 報告書

2017.5.1—2018.4.30

[証券コード:6630]

40 | Years of  
Beauty



株主の皆様には、平素より格別のご高配、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、ここに2018年4月期(2017年5月1日から2018年4月30日まで)のYA-MAN REPORTをお届けし、当期の経営成績などについてご報告いたします。

代表取締役社長 山崎 貴三代

## 当期の事業環境と業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の拡大や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調にあったものの、不安定な国際情勢や米国政権の動向などの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、海外展開やヤマブランド浸透のための各種施策に重点的に経営資源を配分するとともに、コスト削減や社内体制の整備などによる足元の体質強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は23,030百万円(前連結会計年度比15.3%増)、営業利益は5,385百万円(前連結会計年度比53.7%増)、経常利益は5,345百万円(前連結会計年度比51.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,399百万円(前連結会計年度比49.8%増)と、売上・利益ともに過去最高となりました。

## 連結財務ハイライト

## Financial Highlights

	(単位:百万円)	前期比
<b>■ 2018年4月期</b>		
売上高	23,030	15.3%増
営業利益	5,385	53.7%増
経常利益	5,345	51.3%増
親会社株主に帰属する当期純利益	3,399	49.8%増
<b>■ 2019年4月期見通し</b>		
	(単位:百万円)	前期比
売上高	25,101	9.0%増
営業利益	5,015	6.9%減
経常利益	4,999	6.5%減
親会社株主に帰属する当期純利益	3,150	7.3%減

## 次期の見通しについて

当社グループが属する美容健康関連業界は、これからも成長が期待される業界であり、今後ますます競争が激化していくことが予想されます。

このような状況の中で、当社グループとしましては、売上高の伸長による業績拡大だけでなく、利益水準の維持を大きな経営課題としたいと考えております。更なる業績拡大に向けての先行投資に積極的に支出する一方で、営業利益率20%を目標とし、様々な課題の解決に取り組んでまいります。

来期におきましては、ショッピングインショップや直営店の出店を加速させるほか、優秀な人材の確保やブランディングの強化のための広告宣伝活動などに対する支出を増額し、早期に売上高300億円を達成できるような土台作りを努めてまいります。

来期の業績予想につきましては、売上高25,101百万円、営業利益5,015百万円、経常利益4,999百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,150百万円としております。

## 株主様への利益還元について

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付けております。配当金につきましては、毎期安定的、継続的な実施を原則とし、積極的な事業展開や内部留保による財務体質の強化を維持しつつ、期中の業績や配当性向を総合的に勘案して決定することとしております。

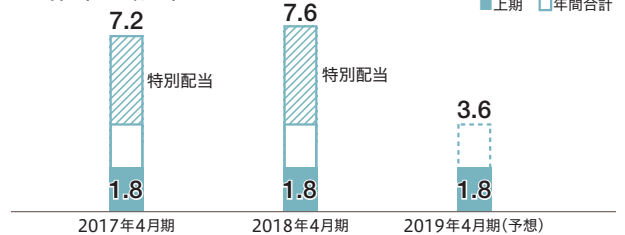
当期の期末配当につきましては、当初予定の1株当たり1.8円に特別配当4.0円を加え、5.8円とさせていただきます。

なお、当社は、2017年11月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っており、当該分割を考慮した当

期の年間配当金は1株当たり7.6円となります。

また、次期の配当予想につきましては、上記方針に基づき1株当たり年間3.6円(内、中間配当1.8円)としておりますが、利益の状況を鑑みながら最終的な金額を決定する予定です。

■1株当たり配当金(円)



(注) 1. 2017年4月期期末配当金の内訳 普通配当1.8円、特別配当3.6円  
2. 2018年4月期期末配当金の内訳 普通配当1.8円、特別配当4.0円  
3. 上記金額は、2017年11月1日付で行った株式分割を反映したものです。

## 株主優待

株主優待品は、2018年8月中旬以降、順次発送いたします。

当期は、2017年11月1日付の株式分割に伴い、株主優待制度の対象となる株式数を引き下げ、実質的な制度の拡充を行いました。

今後も株主様のご意見をうかがいながら、制度の充実を図ってまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株主優待品(100株以上500株未満)  
13,000円相当の自社商品



株主優待品(500株以上)  
46,000円相当の自社商品

## 報告セグメント別概況 Reportable Segment

### 売上高構成比



#### 通販部門

主に雑誌やテレビを利用して  
通信販売を行う事業者向け  
卸売事業

- 売上高 3,816百万円
- セグメント利益 1,514百万円

#### 店販部門

主に家電量販店や  
バラエティショップ向け  
販売事業

- 売上高 10,058百万円
- セグメント利益 4,460百万円

#### 直販部門

インフォーマーシャルや雑誌、  
新聞、Web等の媒体利用による  
個人向け直接販売事業

- 売上高 5,572百万円
- セグメント利益 2,068百万円

#### 海外部門

海外の通信販売業者、  
卸売業者、個人顧客等への  
販売事業

- 売上高 3,510百万円
- セグメント利益 1,354百万円



### 3月29日(木)東京ミッドタウン日比谷に直営店を新規出店

当社は、2018年3月29日に東京ミッドタウン日比谷1階「イセタン ミラー メイク&コスメティクス」内に、銀座店(キラリトギンザ)に続き2店舗目となる直営店を新規出店いたしました。

新店舗では、当社が取り扱う家庭用美容機器の中で最もハイスペックなモデルを揃えたサロン専売ライン「ヤーマンプロフェッショナル」や、人気製品の直販限定モデル、北欧生まれのシリコン製フェイシャルクレンジング&エイジングケア※1デバイス「FOREO LUNA2」など、幅広い製品を展開しております。また、6年連続国内売上NO.1※2のミネラルファンデーションを有するコスメティクスブランド『オンリーミネラル』も、厳選したラインナップで取り扱う予定です。

美容機器を初めて使用する方や肌悩みがある方でも、肌のコンディションやライフスタイルに合った正しいケアができるよう、専門スタッフがカウンセリングサービスを行い、製品のご紹介だけでなく効果的なトリートメント方法までご提案いたします。

確かな技術力に裏打ちされた製品と、エステティックプロのノウハウに基づく独自の美容メソッドで、忙しい女性の美的向上心に応える新しいホーム・エステティックケアをご提供いたします。

※1 年齢に応じたケア

※2 「化粧品マーケティング要覧 2017、2016、2015、2014、2013、2012」ファンデーション・ルース部門として 2016年、2015年、2014年、2013年、2012年、2011年実績(株)富士経済調べ



# 連結財務諸表 Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2017年4月30日現在	2018年4月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	13,086	15,352
固定資産	860	1,171
有形固定資産	400	502
無形固定資産	292	468
投資その他の資産	167	200
資産合計	13,947	16,524
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,450	4,325
固定負債	611	321
負債合計	5,062	4,646
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,882	11,872
資本金	1,813	1,813
資本剰余金	1,313	1,313
利益剰余金	6,048	9,037
自己株式	△292	△292
その他の包括利益累計額	2	5
その他有価証券評価差額金	6	10
為替換算調整勘定	△4	△4
純資産合計	8,884	11,877
負債純資産合計	13,947	16,524

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	自2016年5月1日 至2017年4月30日	自2017年5月1日 至2018年4月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,464	3,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176	△419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△698	△897
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△22
現金及び現金同等物の増減額	2,596	1,708
現金及び現金同等物の期首残高	5,219	7,815
現金及び現金同等物の期末残高	7,815	9,523

## 連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	自2016年5月1日 至2017年4月30日	自2017年5月1日 至2018年4月30日
売上高	19,969	23,030
売上原価	7,147	7,959
売上総利益	12,822	15,070
返品調整引当金戻入額	115	107
返品調整引当金繰入額	107	113
差引売上総利益	12,829	15,064
販売費及び一般管理費	9,326	9,678
営業利益	3,503	5,385
営業外収益	61	10
営業外費用	31	50
経常利益	3,533	5,345
特別利益	68	49
特別損失	35	11
税金等調整前当期純利益	3,566	5,383
法人税等	1,297	1,983
当期純利益	2,269	3,399
親会社株主に帰属する当期純利益	2,269	3,399
その他有価証券評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	0	△0
包括利益	2,273	3,403

新製品トピックス

肌を上げる、私が変わる。



着けるだけの  
ウェアラブル美顔器  
メディリフト



# Medi Lift

LIFT CARE FACE MASK

## 10分間 着けるだけ

顔の下半分にアプローチする  
ウェアラブル美顔器



医療の現場でも使われるメディカルシリコンマスクで肌を引き上げながら、独自のEMSで表情筋を刺激するウェアラブル美顔器です。伸縮性に優れ肌に優しくフィットするメディカルシリコンマスクによって肌を引き上げ、正しい位置へと導いた状態で、「動かす」べき筋肉“大小頬骨筋”を刺激する「トレーニングEMS」と、「休ませる」べき筋肉“咬筋”をゆるませる「リリースEMS」2種の独自EMSをそれぞれの筋肉に適切な波形で伝えて、効率よくお肌のもたつきをケアします。

## 2つのアプローチで表情筋を刺激

大小頬骨筋への  
アプローチ



**トレーニング EMS**

大小2つのリフト筋へ同時にEMSを出力。  
2.5~17Hzの低周波で大小頬骨筋周りを  
トレーニングします。

咬筋への  
アプローチ



**リリース EMS**

深層筋の咬筋へも20~100Hzの低周波で、  
しっかり到達。  
まるでストレッチするかのように、  
心地よく刺激し整えます。

化粧水でお肌を整えたあと、シリコンマスクを装着してスイッチを押すだけ。

リフトケアに特化した、3種類のオートプログラムが、正しい表情筋に正しくアプローチ。上向き素肌へと導きます。

10分間、着けるだけのウェアラブル美顔器なので、誰でも簡単に、正しい表情筋エクササイズが可能に。トリートメント中は100% ハンズフリーなので、読書やエクササイズなどをしながらの“ながらケア”で時間を有効に使えます。

これからも、人をきれいにする発明を。  
人気No.1※の美顔器から、40周年限定キット登場。

# 40<sup>TH</sup>

THANK YOU  
FOR  
40 YEARS

RFボーテ フォトPLUS  
40周年キット

HRF-10TN-ANV

セット内容

RFボーテ フォトPLUS 40周年限定モデル  
今治無撚糸タオルヘアバンド  
税抜 40,000円(税込 43,200円)



※ 2015年10月以降の当社取扱いの美顔器において、全ての販売経路を対象とした累計出荷台数および金額の集計結果より(自社調べ)。

# 会社概要・株式状況 Corporate Data / Stock Information

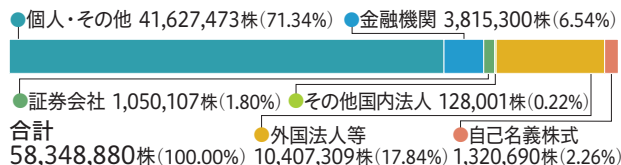
## 会社概要 (2018年4月30日現在)

商号 ヤーマン株式会社  
設立 1978年(昭和53年)5月27日  
資本金 1,813百万円  
従業員 214名  
事業内容 美容健康関連機器及び化粧品の研究開発・  
製造・販売、バラエティ雑貨等の仕入販売

## 株式の状況 (2018年4月30日現在)

発行可能株式総数 195,555,520株  
発行済株式総数 58,348,880株  
株主数 33,388名  
単元株式数 100株

### 所有者別分布状況



### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山崎 行輝	8,306,100	14.56
山崎 貴三代	6,204,600	10.87
山崎 静子	5,954,400	10.44
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	2,789,800	4.89
山崎 光英	2,453,600	4.30
VictoriaYamazaki	2,080,000	3.64
山崎 知美	2,080,000	3.64
MSCO CUSTOMER SECURITIES	1,916,374	3.36
山崎 岩男	1,473,600	2.58
MSIP CLIENT SECURITIES	1,031,262	1.80

(注) 1. 持株比率は、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 役員一覧 (2018年7月27日現在)

代表取締役社長 山崎 貴三代 常勤監査役\*2 岩崎 榮治  
取締役副社長 伊藤千保美 監査役\*2 山田 勝利  
取締役 山崎 岩男 監査役\*2 亀岡 義一  
取締役 宮崎 昌也  
取締役 戸田 正太 \*1 社外取締役  
取締役\*1 繁野 径子 \*2 社外監査役  
取締役\*1 石田 和男

## 株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで

定時株主総会 毎年7月

基準日 定時株主総会 4月30日

期末配当金 4月30日

中間配当金 10月31日

公告方法 電子公告。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。